



パワー浜松ロータリークラブ週報2014年8月19日号
本年度テーマ:Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう
～心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ(2014-15年度会長:小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松4307号室
Tel:053-452-0800 Email:info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC



第545回例会 8月19日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松4F平安の間

- 司会:奥山恵理子、廣瀬隼人 ●点鐘:岩本英樹副会長
 - ロータリーソング:それこそロータリー
 - ゲスト:青少年交換留学生 熊谷綾乃さん、米山記念奨学生 暢婉君さん
 - ビジター:浜名湖RC 菅沼仁司様
 - 議事:青少年育成委員会「交換学生(熊谷綾乃さん)による、フランス帰国報告」
- <出席報告>本日出席率62名 75.60% 前々回出席率86.59%



■会長挨拶

みなさんおはようございます。本日は小林会長が留守の為、代行として岩本が勤めさせていただきます。どうぞ宜しくお願いします。

前回の例会で小林会長からお話がありました、上質な住宅というテーマ。実はあまり聞き慣れない言葉ですので、その夜自宅へ持ち帰って家族で上質な住宅は何ぞやという話してみました。その時に小林会長からお話のありました上質な住宅の大きな位置づけとして、空気がきれいである事というお話がありましたが、昨今ですと、空気をきれいにするために空気清浄機ですとか、空調システムですとかが非常に発達している訳ですが、我が家に於いては、実際どうなのかと話をしてみました。

実は我が家は、33年前に私の父親が飛騨高山から合掌造りという非常に古い建物を移築しました。33年前にすでに160年経過している住宅を移築しましたので、すでに200年近い月日が経過しております。住宅の材料となる木が届いた時には、うちの母親が涙を流して悲しんでおりました。何故かと申しますと、その合掌造りの骨組みである、ケヤキそしてトチの木、こういった木がスズで真っ黒だったんです。この黒い木でどういう家を作るんだということで母は号泣したそうです。ところがそれを磨いてきれいに洗って今その住宅に住んでいる訳ですが、この湿気のある夏などになりますと、私が使っている部屋は障子の襖が閉まりにくくなったり、また冬場になると、乾燥して今までだったら力を入れなくては行けない扉がスッと開いてバンと大きな音がしたりという事で、まさに木が呼吸をしているという事が、きれいな空気の中で生活が出来ているという事で、改めて自分の父親が造ったものに感謝をしているような状況であります。

まだまだ暑い日が続きますけれどもみなさん健康には十二分に留意をして生活をして頂ければと思います。こういう席でお話をするのが不慣れでございますので一番初めに大変申し訳ございませんでした。ビジターの浜名湖RCの菅沼様、そしてゲストに熊谷さん、そして暢さんご臨席いただきました事を本当に感謝申し上げます。

■幹事報告

- ・レターボックスに一ノ瀬さんと岩崎さんのデータをプリントしたものを配布しました。
- ・東北支援金を安間さんが代表で被災地に届けてくれました。その様子が地元紙に掲載されました。
- ・本日メールにて9月6日開催の中田島清掃活動について出席の有無の確認をさせていただきます。今年度は清掃活動と堆砂垣づくりの奉仕活動があります。
- ・8月22日(金)に浜松中ロータリーさんへ堆砂垣づくりの講習会に行つて参ります。出席者の方には当日堆砂垣づくりの先生になって頂きます。また、メンバーの皆様は是非中田島清掃活動及び堆砂垣づくりにご参加下さい。
- ・8月23日(土)富士山環境保全支援金授与式と基調講演がグランドホテル浜松で行われます。
- ・次回8月26日の例会は、ロータリアンの大先輩で人生の大先輩でもある「おおつかはるじ」さんの卓話です。

■委員会報告

募金活動委員会:村井睦彦

8月8日富士山環境保全支援金54,164円を岡本ガバナース事務所口座に送金。東北の学童クラブへの寄付金87,403円は安間会員より手渡されました。

青少年育成委員会:寺田洋平/福地三則

8月10日に静岡大学にてWRO浜松予選会が開催されました。小学生22人が出場し、舞阪のチームが優勝しました。これからも皆さんの応援をお願いします。

■スマイル

小澤邦比呂:8月5日にホテルコンコルド浜松に於いて、道路愛護団体表彰式が執り行われました。今回の表彰を一層の励みとして、これからも清掃活動を続けて参ります。

小澤邦比呂:8月13日小澤家の長男、歩夢(ポム)トイプードルが、4歳の誕生日を迎えました。これからも、いつまでも元気でいてもらいたいものです。

安間孝明:8月12日に、岩手県大船渡市にある、学童クラブ「にこにこ浜っ子クラブ」と「リトル学童クラブ」に、皆様から託された支援金をお届しました。ご協力ありがとうございました。

福地三則:8月10日(日)に、世界ロボット競技会のWRO浜松予選会が行われました。パワー浜松RCから7名の方々がお手伝いに来て頂きまして無事に終了しました。

原田道子

今年の11月20日に、日本ニュービジネス協議会の全国大会が静岡で開催されます。ホンダ技術研究所の社長が基調講演をやり、パネルディスカッションもあります。チケットパンフレットも持っています、ご連絡ください！

■ 議事

青少年育成委員会

交換学生(熊谷綾乃さん)による、フランス帰国報告

フランスで生活するようになってまず感じたのは、異なる人種の多さでした。まず、私の1番目のホストファミリーはマダガスカル人でしたし、パリはもちろん、学校でも、私の住んでいた街中でも、多くの外国人がフランス人と混ざり、生活していました。私は、フランス人、そして多民族と接することで、初めて自国の文化の大切さに気づきました。異なる文化を比較し理解することが、国際化を進めるための大きな課題になると思いました。

フランスで感じた日本の問題点は、日本では他国の文化や人材を積極的に受け入れる体制は整っていない、コミュニケーションに対してとても消極的であると感じました。これは教育の現場などで受動的な環境が多いため、話し合うことや自分の意思を伝えることが苦手なように思います。グローバル化が進んでいくこれからの社会では、多くの国の人とコミュニケーションをとり、自分の意見をしっかりと伝えるための教育が重要になってくるのではないかと思います。

また留学して様々な国の人達と出会い、強く感じたことは、世界の共通言語は英語であるということでした。それぞれの国の文化を伝えるためには、言葉が喋れなければどうしようもありません。今まで嫌いでできるだけ避けて通りたかった英語の勉強を今からでも勉強し直し、しゃべれるようになりたいと思うようになったことは、今回の留学での私の大きな成長だと思っています。

日本は素晴らしい文化を持つ国です。また日本人は礼儀を重んじます。これはずっと昔から日本人が大事にしている、受け継がれてきた美徳です。フランスでは順番を守らず、横入りする人がとても多く、また、スリなどの犯罪も多いため、カバンにはチャックが付いていなければ危ない、などと日本では考えられないこともよく注意されました。

今フランスでは、日本のことに興味を持つ人が増えてきています。パリでは2000年から毎年”Japan expo”という日本の文化を伝えるための大きな展示会が開催されています。今年は私も学校の友達と行ってきました。ここでは、漫画・アニメだけでなく、多くの日本の企業、食べ物が出店していました。また、柔道や剣道などの武道を体験できるコーナーも設けられていました。多くの人が漫画・アニメのコスプレや、着物、制服を着てこの展示会に参加していました。25万人もの来場者が訪れ、日本人が説明などをすることが出来るこのような展示会でも、正しい日本の文化を伝えられればと思います。

この留学を通して、私は国際関係の仕事に進みたいという気持ちが強くなり、大学で世界各国の文化教育や政策を勉強してみたいと考えています。

1年間、このような素晴らしい留学の機会をいただいた、パワー浜松ロータリークラブに感謝しています。

どうもありがとうございました。

